

平成29年度第3回魚沼市子ども・子育て会議 会議録

1. 日時	平成30年3月7日（水） 10:00～11:45					
2. 会場	魚沼市中央公民館 2階 中ホール					
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市子ども・子育て会議					
	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
	会 長	樋口 健一	○	委 員	清水 明次	○
	副会長	橘 恵子	○	〃	羽鳥 敦子	○
	委 員	佐藤 明美	○	〃	小林美枝子	○
	〃	中林久美子	○	〃	佐藤まち子	○
	〃	那須かおる	○	〃	井川 智子	○
	〃	武藤三紀子	○	〃	梅田 愛子	○
	〃	今井 久子	○	〃	榎本 隆太	○
	〃	山本 都子	欠			
魚 沼 市						
魚沼市子ども・子育て会議事務局（教育委員会） ・教育長：梅田 勝 ・教育次長：堀沢 淳 ・子ども課長：吉澤国明 ・保育園幼稚園係：森山丈順、吉田 浩 ・児童福祉係：星野 崇 ・子育て支援センター：斎藤勝浩 ・母子保健係：岡部 忍						
4. 資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 魚沼市子ども・子育て支援事業計画の見直し内容（案）について ・資料2 児童数の推移 ・資料3 魚沼市子ども・子育て支援事業計画の見直し（案） ・魚沼市子ども・子育て支援事業計画 平成29年度事業評価シート ・魚沼市子育て支援（母子保健事業）一覧（案） 					
5. 会議概要	<p>事務局</p> <p>それでは配布資料の説明をします。1枚目が議事進行のレジメです。2枚目は出席名簿、魚沼市子ども子育て支援事業計画の見直し内容（案）について、資料1から3まで綴ってあるものが一つ、平成29年度事業評価シートが一つ、あと、補足説明用に魚沼市子育て支援事業（母子保健事業）ということをつけてあります。それでは教育長からご挨拶申し上げます。</p> <p>教育長</p> <p>皆さんおはようございます。今回3回目ということで、魚沼市子ども子育て支援事業計画が平成27年度から5年の間で策定をされており、今年が中間年ということで来年、再来年の計画を見直しということが主なことになろうかと思えます。児童数が年々減少しております。特に小学校中学校は、今年度は昨年度から129人減ります。今年</p>					

	<p>度から来年度にむけて102名減るということで、毎年百人ずつくらいが減っているという内容になっています。未就学の子どもたちの人口も減少していて、0歳児は220名くらいの子どものたちがいるわけですが、そのうちの4割近くは保育園にいつているという現状もありますし、また、1歳、2歳児については、435名くらいいるわけですが、約7割近く288人が入所しているという数が出てきています。やはり産休、育休をあけてすぐ就労していくという、またそうしなければいけないという社会の状況もあります。また、第2子の保育料無償化によって、夫婦共稼ぎというなかで、早く現金収入を得なければいけないというそういう現実もあるわけで、保育園の必要性がますます高まっていくなかで、数字を変更しなければいけないという状況になっています。実態をつかんで、ご意見をいただければと思いますが、今日は高校の入試ということで、該当のお母さんもいらっしゃるかもしれませんが、よろしくお願いします。</p>
(会長)	(以降は、子ども子育て会議条例の規定により会長が議長となり進行)
議長	<p>3回目になりましたが、皆さんよろしくお願いします。建設的なご意見をいただけるとありがたいです。それでは次第に沿って進めたいと思います。議事の(1)です。子ども子育て支援事業計画の中間年の見直しということで、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議事1について説明します。子ども子育て支援事業計画の中間年の見直しということで、前回の会議でこの見直しの案を取り実効性のあるものにしたいと説明しました。その後、あの時点では推計値でしたが、実際にお子さんたちの入園状況が確定し、それにもとづいて計算をしたところ実態にあわせて見直す必要が生じたということです。</p> <p>(別紙資料に基づき説明)</p> <p>くわしい内容は前回説明したものがありますので、今回の見直し点、前回の内容での不明な点について、ご質問いただければと思います。これをもって、平成29年度の中間年の見直し案とさせていただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
議長	<p>事務局から説明がありました。先回に変更があったのですが、今回はさらに修正ということで、内容を説明いただきました。もう一度聞きなおしたいとか、ご質問とかありますでしょうか。先回は予想だったわけですが、申込みを受けてみたら、予想より多かったということですか。</p>
事務局	はい、そうです。
議長	それで平成30年度の確保数をふやさなければいけない、ということでの数字の変更というわけですね。

事務局	<p>はい。前回提案したのも、当初の計画よりだいぶ増やしたかたちで、提案したのですがさらにその予想を上回ってしまったということです。</p>
議長	<p>未満児が増えているという状況ですが、皆さんいかがでしょう。ご理解いただけますでしょうか。質問があれば挙手をお願いします。</p>
委員	<p>資料3について、4年については396人の見込みということですが、その次の5年、来年度の方は見直しになりますと説明はあったかと思いますが、5年についても392人ということで1名しか差がない状況です。このままいけば増えるのではないかという感想もありますが、これは見込みとしてこの数字でいくと解釈すればよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>前回と同じ考え方で伸び率を考えて、30年度、31年度の数字を考えてみました。そのほかに今回70%を超えて申込みがあったということですが、そのくらいの割合はさすがにかわらないのではないかと考えています。量の見込みが増えていったとしても、確保の量はまだ30ちょっとありますので、31年度はなんとか飲み込めるかと思っています。</p>
委員	<p>じゃあ、このままでということですね。</p>
議長	<p>よろしいですか。児童数の推移としては、資料2に数がありますが、資料2の2番、未満児の方についてです。羽鳥さんから指摘のあった平成31年はこのような推移で、分母が増えるわけではないので、同じような割合でみれば、ほぼ同じ数でいだろうという事務局の見込みですよ。ということで31もほぼ同じ数でみているという理解でいいかと思います。他に皆さんからご質問があればいかがでしょうか。実質に伴っての変更というわけですので、それに対応した見直しをもっていかないといけないのですが、今回は3回目でもありますし、資料は見直し案というかたちで出ていますが、案をとって正式な見直しにしたいということですので、決をとってほしいということです。挙手による採決にしますけれども、その前に聞いておきたいとか質問とかよろしいでしょうか。それでは、議事の1ですが、子ども子育て支援事業計画の中間年の見直しについて、原案に賛成の方は挙手をお願いします。ありがとうございました。挙手多数ということで、本案を可決ということをお願いします。それでは議事の2の方に進みたいと思います。議事の2、子ども子育て支援事業計画の評価と検証につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは2番の子ども子育て支援事業計画の平成29年度の評価の作業となります。今日は3回目ということで、任期1年目の会議ということで、これまで説明はしてきたのですが、実際に1年間たってみて、いったいどんな会議なのだろうとお悩みの方もいると思うのですが、この事業計画の評価という作業をすることでこの会議の役割がわかると</p>

	<p>いう気持ちでいます。このA3のシートに沿って今年度の事業でどのようなことが行われてきたかを、ざっと説明したいと思います。本日は説明でありますし、データは2月末の時点の数字をとっております。3月末のデータをもって正式に事業成果となりますが、今回の会議から次回の会議までの間にじっくり見ていただいて不明な点やご意見等があればお寄せいただきたいと思います。次回の平成30年度の第1回の会議のなかで検証したいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思っています。</p> <p>(別紙資料に基づき説明)</p> <p>ざっと説明しましたが、この中からファミリーサポートセンター事業について、なんとか増加をお願ひできないかということをお申上げてきましたが、今年度若干増加したということで、担当から少し説明をお願ひします。</p>
事務局	<p>はい。ファミリーサポートセンターについては、一番の課題は提供会員が少ないというところです。依頼があっても提供会員の都合がつかなければマッチングができず、保育園の一時預かりにお願いをしたというケースもありました。そこで今年は会員を増やそうということで、提供会員のなかだと保育園退職者であるとか、子育て支援センターに関わっている子育て支援員さんであるとか、子育てサークルの方であるとか、そういうところに幅広く声かけをしました。あと、依頼会員として申し込んだ方に、依頼会員と同時にできるときは提供会員になってもらえませんか、ということをお願ひして、両方会員になってもらいました。これは提供会員のほうに人数を含めていますので、提供会員が増えたかたちになっています。ただ両方会員にしても、自分の子どももいる状態ですので、増えているとはいうものの提供会員の数は十分ではないということです。今後いろいろな機会に依頼会員も含めて会員の募集をかけていきたいと思っています。</p>
議長	<p>それでは、半分ほど説明がありましたが、魚沼市が進める子ども子育て支援についての事業の説明でした。これについて、委員の皆さんから評価をしていただきたいと思います。事業の趣旨はこちらの冊子にのせてありますし、それにもなっている計画や実績の概略をお話いただいたわけですから。今年度の評価事項、成果、課題等も触れてあります。これらについて委員の皆さん方から、聞いておきたいことや推進状況について確認したいことや質問、ご意見がありましたらうかがいたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>3-7のファミリーサポートセンター事業の計画における目標値、先ほど逆だと言われたのですが、事業実施状況について数字はこのままで大丈夫でしょうか。</p>
事務局	<p>はい、実績についてはこのままの数値で、依頼会員が14で提供会員が12でよいです。</p>
委員	<p>そうしたら提供会員の募集について、市報等にものっているのでしょうか。</p>

事務局	市報には1年に一回はのせています。
委員	もし人手が足りないようであれば、年に2回とか、春先と秋のはじめとかに載せて募集をかけてもいいのではないかと思います。
議長	ありがとうございました。PRについても評価をしてはどうか、ということだと思います。他にいかがでしょうか。
委員	2-1の3号認定についてですが、平成29年度の確保の量が380名で実績が368名で、課題評価のところを見ると育休延伸での対応もあったということですが、これは定員の確保はされていたけれども保育園のある地域があわなかったということでしょうか。それと、どのあたりの地域の方が希望されていたか、もしわかりましたら教えてください。
事務局	育休延伸による対応ということで、育休あけに保育園に預かってほしいということですが、希望する園に空きがない場合には育休を伸ばすという制度です。今ほど質問のあったどの保育園かということですが、1歳ではほぼ全部の園でも満杯になっている状況です。3号認定の1歳が満員となったために育休延伸で対応したということです。
議長	地域性というよりは年齢ということですね。ほかにいかがでしょうか。
委員	一次預かり事業で金額の見直しを検討しましたというのがありますが、これは次年度ということでしょうか、それとも平成29年度中に今の金額見直しを検討しているのでしょうか。あるいは平成30年度に変わるのでしょうか。
事務局	一次預かり事業についてですが、後段でコメントする場面があるのですが、保護者負担の見直し検討をしています。29年度末までには方向性を出したいと思っております。前回の会議でもありましたが、他の市町村に比べて利用料が高いのではないかと、ということで、今年度、県内20市の状況を調べ比較して、魚沼市はどういう形がいいのかということをつめている段階です。
議長	では30年度から反映できるということでもよろしいでしょうか。前回からの話題ですが、そういった形で検討しているということです。安くなるということです。ほかに皆さんいかがでしょうか。
委員	いま一時預かりの話がでましたが、私個人的な意見として、自分自身が保育園の入園を考えたときに一時預かりの料金があって、自分の仕事の形態にもよりますが、それを基準に入園した方がいいのか、一時預かりをうまく活用していけるのか、ということで

議長	<p>「一時預かりの料金は来年度かわりますか」という問い合わせを一度させてもらいました。そのときは、かわる可能性はあるが、まだわからないという回答をもらいました。それがもう少し早い段階で「来年度からはこういう方向です」という話をいただくと、早めの判断材料となったと思います。私もいま1歳児の子どもがいて、一時預かりか入園という親側の判断になっていくポイントなので、早めにわかるとありがたいです。</p>
事務局	<p>それについていかがでしょう。</p>
事務局	<p>早めにすればよかったところでした。すみませんでした。</p>
議長	<p>予算の関わることだと思いますが、情報を早く市民にいただきたいということで可能な限りお願いします。他にいかがでしょうか。それでは後半の説明をいただいて、質問があれば聞きたいと思いますので説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは4枚目以降になります。こちらは数値目標というよりは、どのような取組がされたかということがメインになっています。</p> <p>(別紙資料に基づき説明)</p> <p>早口でざっと説明しましたが、4-2の「質の高い幼児期の学校教育・保育の提供及び地域の子育て支援の役割及びその推進方策」からいくつか補足説明をします。まず公立保育園の民営化の取り組みにつきまして、課長からお願いします。</p>
事務局	<p>それでは公立保育園の民営化の取り組みについて補足します。10月18日に公立保育園民営化計画検討委員会の第1回を開催し、おおむね月一回のペースで第5回まで開催済みです。3月16日の第6回会議をもって最終回の予定です。今年度中に報告書を提出してもらう予定になっています。検討結果については、いろいろな意見をいただきましたが、民営化について積極的に推進するという意見から、慎重にするべきという意見までいろいろありましたが、事務局としては、民営化計画そのものがまったく反対というような感じは受けていないと感じています。最終的に報告書が提出されたのちに市において、計画の素案を作って公表していくことと考えています。</p>
事務局	<p>続きまして一時預かりの充実の部分で補足をします。指摘を受けて県内の様子を調べるといことで、9月に県内20市にアンケートをし19市から回答がありました。県内の一時預かりの実態はわかりましたが、それぞれの自治体でこれまでの経緯があり、違いがありました。そんな中で魚沼市は、0歳、1・2歳児の利用料が高いことがわかりました。なんとか再精査して他の自治体と同等か、それよりもいいサービスにならないか金額の検討などを進めているところです。ただ、魚沼市の考え方では、1日預かれれば給食などの実費についても経費のなかに含んでいました。料金が高い分、そういう経費も含まれるという考え方もあったのですが、どのお子さんにどれくらいの給食費がかかったかということを具体的に出す必要もあることから、給食費や延長料金などは、別</p>

事務局	<p>途にするように考えています。園の正規の保育時間の料金と給食等の実費、保育士が延長保育の体制に入っている時間帯での利用料金は別途の算定になると考えています。</p> <p>続いて、6-3に関連して発達障害への意識啓発ということで、子育て支援センターで発達支援コーディネーターの養成という取り組みをしました。この具体的な内容についてセンター長からお願いします。</p> <p>はい、今年度からあらたな取り組みとして発達支援コーディネーターの養成研修に取り組みました。全6回のプログラムで子育て支援センターでプログラムをつくり、公立保育園に関しては副園長が発達支援コーディネーターの役割を担うということで副園長から出席をしてもらっています。私立の園からも多数参加してもらいました。保育園自体の支援力向上を目指すということでやっています。ただ、園に1名だと園全体に浸透させるのが難しいということで園複数体制を目指しています。来年も引き続きこの講座をしていこうと考えています。日程的にも同じような日程で考えており、5月くらいから月1回程度で行おうと思っています。講師についても新潟大学の有川先生から中心になっていただくように考えています。</p>
事務局	<p>それではたくさんの内容を駆け足で説明しましたが、シートの方には子ども子育て会議意見という欄があります。3月で事業が確定しますので、それ以降も意見が集まれば良いと思っています。これからも検証していただければと思います。</p>
議長	<p>はい。後半の説明でした。皆さんから事業内容や課題等についてご質問があったらお願いします。</p>
委員	<p>二つお願いします。4-2の湯之谷やくしクラブのことですが、ホームページを見ると、開始時間、開始の年度、電話番号と定員と主な学校区は書いてありますが、どういったことをしているか、どういう様子なのか、という大まかな写真などがあると、利用したい保護者としてはありがたいと思います。今、施設の外観しか載っていない状態ですので、どういう利用の様子が写真でわかるかというと思います。</p> <p>もう一点ですが、5の「子ども・子育てに関する広報・周知」の魚沼市情報メールの配信ですが、スマートフォンの普及でメルマガは利用人数が増えてきていない状態と思います。魚沼市でスマートフォン向けのアプリを制作する、またはラインの活用で魚沼市の子育てに関するページを作って、そこに登録してもらおうような流れができると今後とも活用がスムーズになるのかなと思います。</p>
議長	<p>はい。</p>
事務局	<p>やくしクラブについては最初に外観を撮ってそれきりにしたように思いますので、見直しをしたいと思います。後段のスマホにつきまちはいうとおりで、どのくらいの対応ができるか、情報分野に長けたものと情報交換しながら、今のアドバイスを生かせる</p>

議長	<p>ようにしたいと思います。</p>
委員	<p>はい。ありがとうございました。他に質問ありませんでしょうか。</p>
議長	<p>6の支援ファイルの活用についてですが、今までの支援ファイルは使い勝手がよくなかったので使いやすくするというので、よりコンパクトに内容も普段必要なところだけを揃えられるようにしてもらいたいという人も使いやすくなると思います。保育園とか学校とか病院とか、子どもに関わる人たちにとって使いやすいようにしていただければいいと思います。もう一つ4-3の就学時の支援シートについて聞きたいのですが、園のなかで保護者にどんなかたちにもっていきこうとしているのか。お母さんのなかには協力的な場合もあると思いますし、難しい反応もあるかもしれませんので対応をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。支援ファイルの件は、見直しの方向にそって意見をいただきましたので、その方向でお願いします。</p>
議長	<p>はい、担当の厚生室で見直しを考えているということですので、今の意見は伝えていきたいと思います。それからシートについてですが、全園で就学支援シートの説明をしました。学校教育課の方で今年からやれる範囲で協力してもらえる保護者がいれば協力いただくという形で、学校との連携の一つとして行ったものです。取り組んでいる園と取り組んでいない園がありますが、園ではどのような状況かお話しいただけますでしょうか。</p>
委員	<p>保護者への対応の点とか、困った点とか、ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>当園では配慮の必要なお子さんには3歳以上児、未満児ごとにその子のために会議を開いています。職員が共通理解をもって接するという事です。保護者とどのように面談して支援していくかということ相談しています。また健診や子育て支援センターが主催する相談にいったほうがいいと思った方には相談をすすめています。それらも会議で、どういう説明をするかをみんなで共有して、それからすすめるようにしています。就学支援シートについては、私は教育委員会の指導主事の先生に、使用するのは少し難しいという回答をさせていただきました。それは、その情報をもとにするのは学校現場の先生方なので、その支援シートを求めるのは小学校であるべきだと、小学校発信にして、園に協力を依頼するというのであれば、私はよろこんで協力をさせていただきます。保護者がどういうふう相談するかということに対して協力をしますがそれがなぜ保育園で保護者の方にお話をすることになっているのでしょうか、という問いかけをしています。私たちはその情報はとても大切だと思いますので、しっかりそれを持つという体制のもとで情報を得てほしいと思っています。だから配慮の必要なお子さんと思う保護者には、担任になる先生からしっかりと話しあいをもったほうがいいとお伝えをし</p>

議長	<p>ています。文書だけでは伝わらないということもありますので、清心保育園ではそういう対応での説明をしています。</p>
委員	<p>では引き続きどうぞ。</p> <p>めぐみ幼稚園です。私のところでは指導主事の先生が話にきてくださって、理解いただける保護者にすすめてくださいということでしたのでお受けしました。ある保護者から、就学時の健康診断のときに子どもが不安になって泣いてしまい、初めて小学校にあげるお子さんだったので、非常に不安だったという相談を受けました。どうしたらいいものなのでしょうかというふうにこられたので、チャンスだと思い、こういうシートがあるので、それを学校に送っていいのであれば伝わるのでどうでしょう、という話をしたら、ぜひお願いします、という返事をいただきました。なかなか幼稚園から指導要録的なものを送りますが、年度末に送っても担任がかわったりする状況では伝わりづらいという状況が正直なところかと思うので、きちんと伝わることを願えば、保護者の安心材料になるのであれば有効だと思いました。ただ発達検査をしていたら項目を書く欄があるのですが、それがあまりそうじゃない方にいきなり見せるとハードルが高いと心配をしていて、ここは受けていない人は書かなくていいですよ、と解釈をして伝えようと思っています。心配のある保護者方には、すすめていいととらえました。安心を第一に。</p>
議長	<p>次の方をお願いします。</p>
委員	<p>ひがし保育園です。指導主事の先生から説明を受け、ある保護者からも同じ相談を受けていましたので、こういうシートがありますということで、保護者と一緒に発達支援コーディネーターも入って作成して印鑑を押して、承諾をいただくという対応をしました。やはり指導主事の先生も言われたように、無理をしないでということですので、保護者に「こういうことに使っていいですか」という承諾を得ることが一番大事だと思います。それを指導主事も気にしていましたので、私たちも気を使いながらしましたし、今後もそうしたいと思います。</p>
委員	<p>親としたら心配です。道筋がある程度はっきりしていたほうが安心感を持ちながら小学校に行くことができると思います。</p>
議長	<p>より使いやすいものになるようお願いしたいと思います。ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>関連してですが、幼稚園と小学校で幼保小連絡会というものが園にもあります。年2回、年度末の送りのときと入ってその後の様子について会議をさせていただいています。この会議をしたあとに、課題のある子のところにすぐ来てくださって様子を見て「この子にはこういう支援で」ということで具体的に話が出てくるので安心です。ただ、中にはなかなか連絡をくださらない学校もあり悩んでいます。やはり小学校へあがるとき</p>

議長	<p>がいろいろ問題の出てくるときでもありますので、中学校にあがるときもそうでしょうし、やはりそういうところで連携をしておかないと問題が起こるのではないかと、という気がします。この会でも何度も言いましたし、他の機会でも言っているのですが、連絡が繋がっていない感じで残念に思っています。ここの部分の評価は下がってしまいます。</p> <p>了解しました。私の立場のお話ですので校長会でお伝えをしたいと思います。他にいかがですか。</p>
委員	<p>小学校の先生が保育園や幼稚園に研修などに行く方向になっているのでしょうか。例えば一年生の先生が夏休みなどいろいろなときに保育園や幼稚園に顔を出すことはあるのでしょうか。校長先生とかではなくて先生方で。私が保育園に勤めていたとき「小学校は保育園からよくわからないで子どもを預かります。お母さんの書いたものくらいで」と校長先生が言ってらっしゃいました。保育園に来るのは校長先生が卒園式や入園式に来るだけで、小学校の先生も別に来ているわけじゃないですね。そういうことで、小学校にあげてみたらとても大変で、保育園ではそういうことをちゃんと伝えているけれども、文書だけの伝え方ではなかなか通じません。また3月に伝えても4月になったときに学校の先生ががらっと変わるために、伝わらない気がしていました。だから、保育園や幼稚園とのつながりがなくて、小学校でいろいろな問題がポツと起きたりすると、子どもも親も不安になったりします。幼児期のことがもう少しきちんとわかっているならば、関わり方みたいなものでやっていけば、もっとよくなっていったかもしれないということがあるかもしれません。先生方はとても忙しいのですが6年間子どもはその小学校で過ごすわけですから、小学校と保育園幼稚園はつながりをちゃんと深めておかないといけないと思います。1年生のときに心に傷が残るような入り方ではよくないと思います。そういうことをつながりをするのがこういう子ども子育て会議みたいな会議でいろいろな意見が出て、どこの保育園や幼稚園もお母さん方もPTAの方も学校もみんな共通でわかっていないといけないと思います。ここにはこの人数しかいないのですが、そういうことをもう少し徹底できるようなつながりのある組織にした方がいいのではないかと思います。前からどのような会議がよくわからないで入っていたので、せっかくこういう会議があるのであれば、ちゃんと繋がっていくようにしないといけないのではないかと感じています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。幼保小の連携をもっとつよめて行く必要があるということだと思います。それを伝えながら学校サイドでできることをお願いしておきます。</p>
委員	<p>先ほどの話に続きがあります。ある小学校では幼稚園・保育園の交流会をさかんに行っているところもあり、大変ありがたいと思っています。めぐみ幼稚園のようにいろいろな学校に行く子どもたちでも、全員を受け入れてくださいます。そうすると学校に上がる前にちょっと学校の様子がわかって、保護者も本人も現場もいいと感じています。それで、</p>

	<p>やらない小学校もあるのでお願いをしたところ答えはノーでした。ちょっと遊びに行つて交流をしたいといいましたがそれは断られましたので「一年生が授業を受けている様子を見せてください」とお願いしたら、担任の先生から見に来られると、一年生がざわつくので、とお断りをされてしまいました。保護者からは「一つの小学校ばかりに行くと自分の行く小学校に行けない子が不安に思うので働きかけてほしい」と言われています。同じ魚沼の子として、やっぱり同じように不安のないように育てていてもらいたいと思っていますので、そちらもできればお願いしたいところです。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>学童保育のことですが、私のところは保育園のほうに1年生にあがる子の様子を見に行ったりとか、なにかことあるごとに学校と情報交換をしていますが、幼保小連絡会には学童保育も仲間に入れていただくとうれしいと思います。</p>
議長	<p>幼保小連絡会に関するご意見をたくさんいただきました。お伝えしていきたいと思います。他に評価に関してお聞きしたいことはありますか。</p>
委員	<p>幼稚園でも人材確保が一番難しいところです。短期で時間給でとなるとますます難しいのが現実ですが、3号認定のお子さんが増えている、障害児にも加配が必要だということになりますと、人員の補充はしなくてはいけないことだとは思いますが、他の園の皆さんは、人員が足りている状況なのか、見つけるのにどんな苦労があるのか、私たちも見つけられるような何かがあるのかなどを教えていただけると、現場としては助かるというのが1点です。それから、どうしても資格の無い方に介助になっていただくことになると、言葉かけや態度の面で保護者が気にいらなかったりする場合があります、そちらも悩みの種になっています。そういう方の研修の場も設けていただければありがたい、私立でもそういう加配の人などが出られる研修会があればありがたいと思います。</p>
議長	<p>はい。ありがとうございます。なにかありますか。</p>
事務局	<p>今回の計画の見直しもそうですが、未満児を例にとると、未満児にかかる保育士のウェットは大きく配置基準が高まりますので、人数の確保が必要になります。公立保育園の場合は次年度、職員の数は増えてしまいます。その確保は現在、一生懸命やっているところですが、保育士の勉強をしている学校にもアピールをして「卒業して思ったところに就職できず、もう一年チャレンジしようという方がいれば、ぜひ魚沼市においでください」という感じで案内を出したりしました。そのため人数的には充足しつつあるのですが、産休に入る方がいますので産休代替職員の手配もしているところです。</p> <p>それから資格の無い方の件ですが、保育士として配置しなければならない人数は守りつつも、支援の必要なお子さんへの配慮や介助という部分については、資格の無い方を</p>

議長	<p>お願いしているケースがあります。いわゆる研修の場が必要であるということも、そういった方が増えるほど、具体的に課題になってきています。新潟県では子育て支援研修を行っていますが、そちらに参加するにも定員が少ないために限られてしまいます。どういった形の研修機会があるか探しながら、魚沼市でもそういう機会を作らなければならぬかということまで含めて、今後の課題検討と思います。どうもありがとうございました。</p> <p>はい、ありがとうございました。他にご意見いかがでしょうか。よろしいでしょうか。時刻になりましたが、それではこの件については、次回会議までに評価をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>2の1の表で平成27年から31年までの数値見込が書いてありますが、実績についても流れがわかるように、当年の分だけではなくてという形にしていただけませんか。</p>
議長	<p>2の1ですね。1号2号3号それぞれありますが、計画における目標値だけではなくて、年度ごとの実績がほしいということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、では29年度の終わりと27、28年度は実績が出ると思いますので、整理してわかるようにしたいと思います。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。他にいかがですか。よろしいですか。そうしましたら(2)の評価検証についての議事を終わりにしたいと思います。(3)のその他とありますが、事務局から何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>それでは(3)のその他であります、平成30年度に新しく取り組む事業がいくつかありまして、そのなかから健康増進室母子保健分野の産後ケア事業について資料提供をいただきましたので、担当から説明いたします。</p>
事務局	<p>平成30年度の新規事業としまして、母子保健の方では、産後ケア事業をあらたに開始します。産後ケア事業は、出産からおおむね4ヶ月未満のお母さんを対象に、出産による心身の不調や育児に対する不安、授乳状況であったり沐浴であったり、はじめてでよくわからないという不安をかかえるお母さんに対してケアをしていくものです。具体的には小千谷総合病院に事業を委託して、宿泊での利用と日帰りでの利用ということになります。どうしても医療機関を使いますので費用が発生します。利用料の一部については個人負担となりますが、不安の軽減や心身の不調の軽減というところではじめたいと思っています。</p>
議長	<p>この別刷りの資料ですね。</p>

事務局	はい、このオレンジ色で塗ったのが30年度新規事業ですが、緑色のものについては予防接種のほうの新規事業で、それが一覧の表になっています。
議長	はい。ありがとうございました。産後ケア事業、新規だそうです、質問ありますか。
委員	質問というか要望なんです、経済的に困難な方は助成が受けられるということでしょうか。
事務局	免除と考えています。
議長	ありがとうございました。他にないでしょうか。では事務局は他にないでしょうか。
事務局	はい。もう一点来年度の取り組みということで説明いたします。放課後児童クラブの広神西小学校区の広神西よつばクラブについてです。今は田中の農環センターにありますが、広神西小学校の中の空き教室部分に移転ができるかどうかを検討しており、なんとかその目処がつきそうですので、平成30年度で広神西よつばクラブを広神西小に移すという予定でいます。関係者は利用者説明会の場で説明することになっています。
議長	ありがとうございました。移転の報告ということでありました。今の件で質問はありますか。いいでしょうか。では、以上で議事の方を終わりにしたいと思います。大きな3番「その他」がありますが、委員の皆さんからご意見がありましたら頂戴したいと思います。よろしいですかね。はい、ありがとうございました。それでは以上でその他を終わらせてもらいます。今回、非常にたくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。学校サイドのほうで確認することもありましたので確認します。大変ありがとうございました。それでは私のほうは終わります。事務局にお返しします。
事務局	会長、大変ありがとうございました。それでは今後の会議の持ち方等について、若干説明いたします。本年度の会議は終了となりますが、皆さんの任期は2年ということで、もう1年任期がありますのでよろしく願います。ただし、委員さんの交代が予定されているかと思いますが、もし後任の方が決まりましたら、早めにお名前と連絡先がいただければと思います。平成30年度には次期計画についていろいろと相談をさせていただくことになると思います。具体的な作業につきましては、この会には部会を置くこともできますので、部会制で作業を行うことも検討したいと思います。それでは最後になりますが、教育次長より閉会のご挨拶をお願いします。
次長	本日はありがとうございました。私も昨年4月に教育委員会にまいりまして約1年ということになりましたが、内部にいるとほとんど気づかないことがあり、そういうものという感じになってしまうことがあります。この場で気づかない点をお聞かせください

たりして非常に参考になりました。また、来年度ももう一年よろしく申し上げます。一点、報告をいたします。皆さんのなかには地元紙などでご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、先日、市の管理職の人事異動が発表となりました。それで、ここにいます吉澤子ども課長が企画政策課企画政策室長として異動となります。同じ企画政策課のまちづくり室長の広井美智子が新年度から子ども課長としてこられますので、吉澤同様によろしく申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

以 上